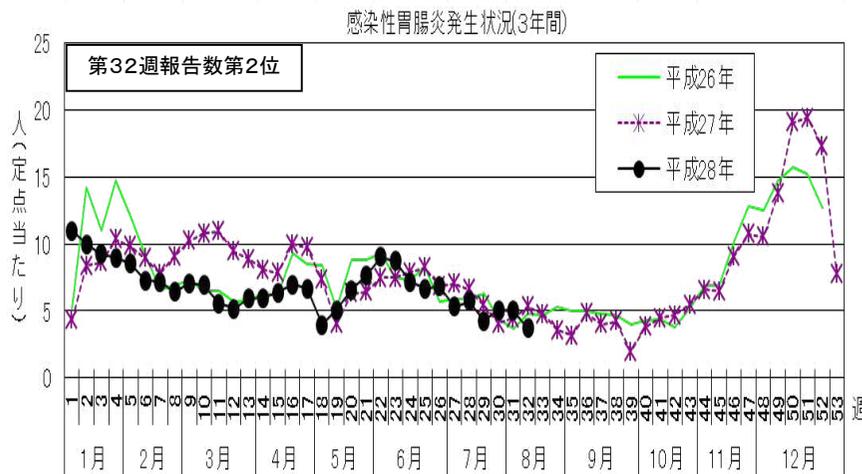
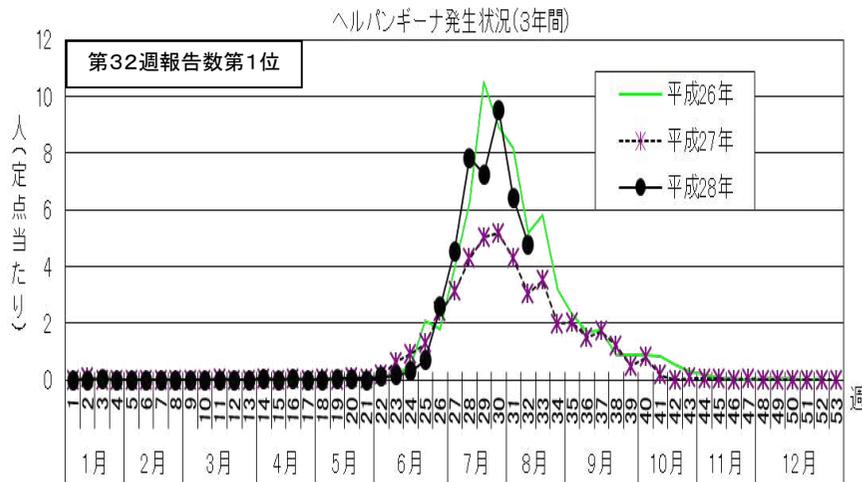


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年8月8日（月）～平成28年8月14日（日）〔平成28年第32週〕の感染症発生状況

第32週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)ヘルパンギーナ 2)感染性胃腸炎 3)流行性耳下腺炎でした。  
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は4.78人と前週（6.42人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.69人と前週（5.03人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。  
 流行性耳下腺炎の定点当たり患者報告数は1.19人と前週（1.53人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## RSウイルス感染症～特に乳児は要注意！～

RSウイルス感染症は、「RSウイルス」を原因とする呼吸器疾患で、例年、秋から冬にかけて流行しますが、今年は過去5年間平均と比べ、夏場にも報告数が多くなっています。

初感染の場合、特に生後3か月以下の乳児、早産児、生後24か月以下で心臓・肺の基礎疾患を持つ小児等では重症化することがあります。

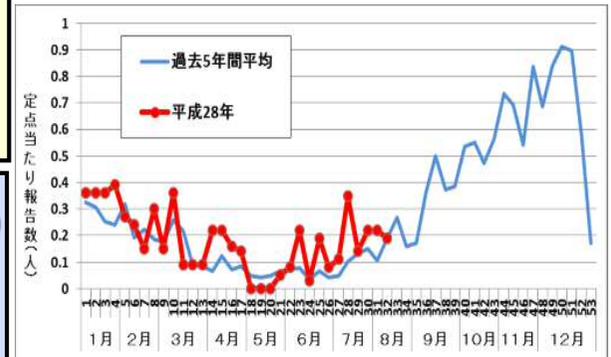
### RSウイルス感染症の特徴

**潜伏期間:** 3～5日（平均4日間）  
**感染経路:** 咳や鼻水等による飛沫・接触感染  
**症状:** 発熱、咳、鼻水などの風邪様症状

### 予防のポイント

- 手洗いの徹底
- ドアノブ等の頻繁に触る場所は、こまめに消毒（消毒用アルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系の消毒剤）
- おもちゃは消毒後、必ず流水で洗浄
- 飛沫感染対策として大人はマスク着用

川崎市におけるRSウイルス感染症発生状況  
 —平成28年と過去5年間平均の比較—



ハイリスクの新生児・乳幼児に対しては、感染を予防する方法もありますので、医療機関で御相談ください。